

助成活動実績報告書

企画名	第19回 あかいわエコメッセ
団体名	あかいわエコメッセ

①活動の目的について

政府は7月に原発から出る「高レベル放射性」の最終処分場を選定するために「有望地」を発表しました。国の狙いや県内での過去のボーリング調査の実態など市民にわかりやすく展示します。

また自然エネルギーの世界での流れについてわかりやすい映画「日本と再生」光と風のギガワットの上映をします。

フォトジャーナリスト広河隆一さんによる「人間の尊厳を脅かす事実」の写真パネル展を同時開催。

②内容について

8月5, 6日開催。参加者のべ150人。 写真パネル展 広河隆一 5日、6日2日間
映画「日本と再生」光と風のギガワット 6日午前、午後2回上映
最終処分場の解説パネル4枚作製 風車キット 50セット

③この活動によって達成された成果

「高レベル放射性廃棄物」最終処分場の有望地を国が発表したことにより、すでに国のロードマップからも最終処分場の決定は大幅に遅れているので、焦燥感を持つ国から「有望地」を理由に押し付けられるのではないかと、原発がある地域、再稼働を申請されている地域など全国の該当自治体や周辺地域の住民たちにとって、大きな不安です。

岡山県内では30年以上にわたって原発の廃止を求める市民運動が継続されており、県内での処分場誘致の動きに対してチェックを続けています。また県内すべての市町村の首長から、「危険なものの持ち込みは認めない」という書面をとるなど、精力的に活動しています。その一端を展示で解説しています。

展示を見た市民からは「国のマップはどこでも可能になる」「原発がない地域が狙われるのか」「絶対認めない」「地下に埋めることは無責任ではないか」などの率直な感想をいただいている。

映画は、自然エネルギーが世界ではすでに主流になっている事実。また自然エネルギービジネスが原発より儲かる事業になっている事実など世界での現状がわかりやすく解説されている作品でした。感想は「これで自信をもって自然エネルギーを進められる」「もっと多くの人が観るべき」「日本が遅れていること痛感」「儲かる事業ということを宣伝すべきだ」「元気になった」など前向きな感想が多かったです。

夏ボラの中学生たちも映画を見て「知らなかったことを学べた」「これからの課題だから関心を持ちたい」「原発の怖さを知らなかった」「世界のことを学べてよかった」など良い学習の機会になったと思います。

アンケートの中に、「いつもエコメッセを開催してくれて感謝です。原発のことに関心を持つ人を増やすこと、国の狙い、市民としてできることを提案してくれます。こういう地道な活動を、これからも続けてください」と苦勞がいやされるコメントをいただきました。

④今後の計画・展望について

来年は20年になります。節目になるような企画を今から企画を検討しています。